



Be a gift to the world  
世界への  
プレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリーのテーマ

# Weekly

尾張旭  
ロータリークラブ

- ・会長 古橋エツ子 ・幹事 森井 晴生 ・クラブ会報 桜井 雅博
- ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
- ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
- E-mail : jimmu@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org



**本日 第2173回 2015年11月6日(金) No. 2058**

**本日のプログラム Today's Program**

**卓話担当者: 飯田 幸雄ロータリー財団委員長**

**点 鐘**

**卓 話: 地区ロータリー財団副委員長**

**ロータリーソング 「君が代」・「奉仕の理想」**

**ポール・ハリス・ソサエティコーディネーター  
中林 正人君(名古屋空港RC)**

**演 題: 「ロータリー財団の今と戦略計画」**

**前 回 第2172回 2015年10月23日(金) 記 録**

○齊 唱: 「君が代」・「奉仕の理想」

○来訪者: RID2760地区 ガバナー

加藤 陽一君

RID2760地区 地区幹事

大竹 一義君

瀬戸市長

伊藤 保徳様

(瀬戸北RC 名誉会員)

出席者: 会員21名中17名出席 出席率80.95%

前々回補正出席率 10月9日分95.24%

**会長あいさつ 古橋エツ子**



△ 4RC合同でガバナーと会長・幹事懇談会 於グレイセル



今日は、加藤陽一ガバナーと大竹一義地区幹事をお迎えして、瀬戸RC、瀬戸北RC、愛知長久手RC、尾張旭RCの4RC合同例会を開催することとなりました。ゲストの紹介をいたします。RI第2760地区のガバナー加藤陽一君、同じく地区幹事の大竹一義君、瀬戸北RC名誉

**ロータリー財団月間**

	11月13日(金)	11月20日(金)	11月28日(土)	12月4日(金)
例 会 予 定	卓話担当者: 丹羽 敏行君	卓 話担当者: 西尾 輝久君	27日(金) 振替	卓話担当者: 冨田 晃君
	卓話者: 〃	卓話者: 山田テンプルクリニック 院長 山田 博之様	IM (12RC合同例会) 於犬山ホテル	卓話者: 〃
	演 題: 「未定」	演 題: 「親不知」		演 題: 「未定」

会員の伊藤保徳瀬戸市長さんです。お忙しいなか、ありがとうございます！加藤陽一ガバナーは、2015-16年度のR I 会長のテーマである「世界へのプレゼントになろう」に続いて、地区の方針を「ロータリーの原点に学ぶ一友情と寛容の輪を拡げよう」とされています。私は、この方針を受けて「ロータリーの伝統を確認しよう」といたしました。それは、私自身がロータリアンとしての経験が浅いため、もっとロータリーの伝統を確認するために多くを学ばなければならない！と感じていたからです。また、メイクアップを兼ねて各他のRCの例会に参加することによって、その土地の気風、クラブの運営のあり方や方向性など、その特色に触れることによって共感したり、違いを認めあったり、ときには批評もしたりする機会もありました。今年度は、2760地区に4人の女性会長が誕生しましたので、任期の3分の1を過ぎたことをきっかけにさまざまな提案をいたしましょうね、と張り切っています。例えば、会議や会合に出席したとき名札をいれるポケットは、女性のスーツにはほとんどついていないためピンでとめなければならないことに始まって、話がドンドンと進んでまいります。こうした私たち女性の動きも、まさにロータリーの原点を学びながら、さらに展開していこうという！ということに繋がるのではないかと考えています。まさに、**Time to More Ahead!**の心境です。結びに、明日から始まるW F Fの参加、そして来年の韓国で開催される国際ロータリーに向けて、僭越ですが4RCでガバナーを大いに守り立てて参りたいと存じます。



## 幹事報告

- ・連絡事項 10月30日(金)休会になっておりますが、13:00から例会場において、45周年実行委員会 13:30から東北支援(タオルの袋に当クラブ)PRのプリントを入れる作業がありますので、お集まり下さい。
- ・10/22 地区米山記念奨学委員会カウンセラー会議 於キャッスルプラザ 山田地区米山副委員長出席
- ・次回の例会:10/30 定款第6条第一節により

休会です  
例会変更のお知らせ:掲示板をご覧ください。

## ニコボックス

- 本日、ガバナー公式訪問でお世話になります。  
ガバナー 加藤 陽一君  
地区幹事 大竹 一義君
- 加藤陽一ガバナーをお迎えして。卓話を楽しみしております。  
本日出席者全員

## 卓話

「ガバナー公式訪問に因んで」

RI第2760地区

ガバナー 加藤 陽一



みなさんこんにちは。卓話の前に、伊藤瀬戸市長わざわざお越し頂き有難うございます。そして地区スタッフの皆さん、そして公式訪問にご出席いただいた会員メンバーの皆さん本当に有難うございます。まずもって御礼申し上げます。公式訪問も今日が終わると80クラブを終え、来週の火曜日に田原地区のほうに行って公式訪問が終わりますので、だいぶ楽になってきます。今日は故郷に帰って来た気分、瀬戸クラブの皆さんにお会いするのも三か月振りかなと思います。今日は、RIのテーマについて、そして地区方針、地地区行動指針についてお話ししたいと思います。宜しくお願い致します。

先ず、RI会長ラビンドランさんですが、スリランカの方で、ヒンズー教の敬虔な信者だと聞いております。ガバナーになるにあたり昨年の夏から、冬にかけて東京の方でいろいろとGETSだとか研究会だとかに出て勉強させて頂きました。そして今年の一月にアメリカのサンディエゴで一週間に渡って缶詰で朝から晩まで、会長経験者の方ならご存じのRLI方式というやり方で勉強して来ました。そこでやっと、ガバナーらしくなってきたのかなという気が致します。その国際協議会の会場に着いたその日に、RI会長ラビンドランさんがここに書いてありますRIテーマ「Be a gift to the world」これをお話になりました。そしてあくる日に、日本語の訳で「世界へのプレゼントになろう」というテーマが出て参りました。



△左より伊藤保徳瀬戸市長（瀬戸北RC名誉会員）  
大竹一義地区幹事、加藤陽一ガバナー

ご承知の様に、国際協議会では世界中のガバナーエレクト5百4十何人が一堂に集まるわけです。そして日本からは34人が集まります。全員が集まる本会議とは別に日本人だけが参加する分科会では、「世界へのプレゼントになろう」というテーマについて、日本の会員の皆さんにどのように説明したらよいかと、喧々譁々の議論が行われ、何回も討議しました。当然日本人のRI理事の方も日本人のRI研修リーダーの方もおられまして、そこでいろんな話がありましたが、最終的には我々34名で「世界の人々に奉仕をしよう」という解釈で説明していけば、分かりやすいのではないかという事になりました。今頃は全国の地区で同じように公式訪問で同様な説明がなされていると思います。

余談になりますが、RIテーマのマークに地球儀がありますが、その中心にスリランカの国があります。日本は載っておりません。RI会長になると、小さなスリランカの国が、地球儀の中心に大きく表示されるのだなと、皆でびっくりしたと同時に、笑っておった次第です。

さて国際協議会から帰ってきて、直ぐに地区方針を出さなければならぬということで、地区方針としまして「ロータリーの原点に学ぶ」～友情と寛容の輪を拓けよう～と致しました。次に、地区行動指針としては、5項目程を掲げさせて頂きました。①高潔なロータリアンを目指し、常にバッジを着用する。②例会に積極的に出席し、ロータリー活動を楽しむ。③自主的クラブの運営。④会員増強・退会防止。⑤地区の改善・改革。以上の5項目です。

何故「ロータリーの原点に学ぶ」というような方針を掲げたかと申しますと、本日出席している皆様方も同じように感じておられると思いますが、我々が入会したころは、大変厳しく指導を受けました。例えば、集合時間の5分前には集まって、必ず時間通りにはじめるとか、いろんな事を教えて頂いてきました。ところが最

近のロータリーの皆さん方が、特に若い方々が、少し変わってきているように感じております。これは皆様方もご存じの様に、RIの方から「会員増強」「会員増強」という事で、ロータリーのハードルをどんどん下げてきております。ご承知の様に、メイクアップも前後1週間から、今は2週間となりました。

また、職業分類も一業種一人から5人まで良いという事になりました。しかし、ハードルを下げれば当然出やすくもなります。こちらのクラブではありませんが、折角入っていただいても直ぐに出ていくという事になってしまうクラブもあると聞いております。また、短パンでセミナーに参加したり、懇親会に茶髪でピアスしてアロハシャツと靴はズックで出席されるメンバーも居りました。そこで是非とも、ロータリアンとしてプライドを持っていただく為にも、例会だけではなく、お仕事の時でも是非ともバッジを付けて頂き、紳士又は淑女としての相応しい立ち居振る舞いを常に心がけて頂きたいと思えます。

それから当たり前ですけれども、例会には積極的に出席して頂いて、ロータリー活動を楽しむというか、楽しいロータリー活動をして頂きたい。我が2760地区は皆さまご承知の様に全国34地区で、出席率は一番でございます。会員数も一番でございます。昔から2760地区は出席率を大事にしてきました。必ずロータリーの例会には出席して頂きたい。どうしても出席できない場合は、メイクアップを必ずして頂きたい。例会に出席することは、ロータリアンの義務だと考えております。是非とも例会には出席をお願い致します。



次に自主的にクラブの運営をする事ですが、地区は上から目線で各クラブに「あーせい」「こーせい」という事では決してありません。2760地区は83クラブありますが、一つ一つのクラブがしっかりと運営して頂く。その為に地区はお手伝いをさせて頂く。それが地区の役目でございます。いろんなクラブがございまして、なかにはもう止めたいというクラブも実際にありまして、そういつ

たクラブを何とかして頑張っって運営して頂くようにお願いしたり、クラブを運営するのにいろいろな問題があるのをどうしたらいいんだろうかという相談に乗らせて頂いたり、様々なご質問に対応したり、いろんな事がありますが、地区というのは、そういった一つ一つのお話を伺ってそれらにご助言をさせて頂き、それぞれのクラブがきちんと運営して頂けるようにお手伝いをするのが、地区の役目だろうと思います。またR Iからはいろいろな事を言ってきます。それで疑問があれば、地区を通してR Iの方にもお話を申し上げることが出来ます。そういったことで一つ一つのクラブが立派に運営して頂けるように我々地区の人間も努力というか、気を遣っております。是非とも宜しくお願い致します。

それから、会員増強・退会防止でございますが、これも当たり前の事ですが、R Iのほうもどんどん会員数が少なくなって上納金も少なくなって、それでずっと会員増強ということをおっしゃってありますが、各クラブのほうも会員が減れば運営が大変厳しくなりますので、会員増強・退会防止ということに、是非ともご協力頂きたいと思っております。

最後に地区の改善・改革ですが、ここの4クラブからも地区のほうに沢山出向されているかと思っております。また地区の委員会の数も沢山在りますし、会議も無茶苦茶回数があります。また会長エレクトとしては三日間R L I方式で朝から晩まで研修会がありますし、いろんなセミナーに出る事にもなります。各委員会がバラバラに実施しておりますので、この様なことになってしまっております。大変申し訳ないことです。これらも田中パストガバナーの頃から地区の改善・改革を進めて来ておりますが、ガバナーの任期はたったの一年です。かたや地区委員会では、時には10年15年と担当されておられる委員の方も沢山居られて、なかなか難しいものがあります。しかしこれではいかんという事で、田中パストガバナー・近藤パストガバナーそして私、さらに服部ガバナーエレクトと共に、地区の改革を絶対にやっていきたいと思っております。これらからならぬ会長エレクトには安心して頂けるように頑張りたいと思っておりますので宜しく申し上げます。以上で、R Iテーマ地区方針について説明させて頂きました。

さて時間も無くなってまいりましたが、ここで地区からいろいろとお願いがございます。明日 24日(土)、25日(日)と開催されるW F Fでは、各分区毎に出店を企画されております。また面白い催し物も一杯あります。何よりも天気にも恵まれそうなので、是非とも足を運んで頂きますようお願いいたします。

W F Fが終わりますと、次の週には地区大会がウェスティンナゴヤキャッスルでございます。今年は東岡崎ロータリークラブさんがホストで

開催されます。講師はJ R東海の取締役名誉会長である葛西様にお願いしております。是非とも地区大会に出席頂きますようお願いいたします。

それから、国際大会が来年6月に今度はソウルで開催されます。ガバナーナイトを瀬戸クラブの方で企画されておまして、今のところ400名位のメンバーが参加予定されております。ソウルは本当に近いところなので、参加されると良いと思います。今年はサンパウロで私も行ってきましたが、あんな遠いところは行くもんじゃないと思っておりました。今年6月に三泊七日の超特急で行って行きましたが、本当に疲れますし、あんな遠い処へはいくものではありません。その点ソウルは近い処なので、是非検討してみてください。ソウルの次はアトランタでその次はトロント、それからハワイという順番だそうです。先ずはソウルに是非参加を検討してみてください。

それから、皆様にいろいろお願いしているものに「希望の風奨学金」があります。ロータリーの友9月号に詳しく紹介されておりご存知かと思いますが、東北震災の時に親を亡くされた子供さん達に安心して大学卒業まで進学して頂けるように、援助していこうという基金です。20年の長丁場の事業ですが是非とも続けて行きたいと思っておりますので、ご協力の程お願いいたします。2760地区は最初から参加しておりますが、34地区のうちまだ10地区しか参加していないので、是非広めていきたいと思っております。

それでは最後にR I会長賞に各クラブさんも是非挑戦して頂きたいと思っております。瀬戸クラブも御蔭さんで今年も受賞し地区大会で表彰されるそうですが、各クラブさんもグローバル補助金、地区補助金を使って素晴らしい事業を行なうたいて、R I会長賞に挑戦して頂きたいと思っております。是非とも宜しく申し上げます。もう少しお話をしたいのですが、時間も迫ってきているという事なので、この辺で私のお話を終わりたいと思っております。

本日はありがとうございました。



△卓話の加藤 陽一ガバナーです。